

見学先：社会福祉法人 新生会 サンビレッジ宮地
所在地：〒503-2406 岐阜県揖斐郡池田町 1175 番地
見学日時：2016年6月3日（金）
見学者：金子亜里砂（依頼人）
山田あすか、古賀誉章、高瀬敦、八角隆介、宮崎文夏

見学報告書
2016.6.8

自分のその時々を考えた生活を大切にするために、早めに住み替えて対応していくことが大切と考えている。そのために、一戸一戸玄関とデッキが付いていて土いじりができるスペースがついていたり、犬との入居を受け入れている。入居者には元気なうち、物事の判断ができるうちはボランティアとしてDSに通ってもらい、支援が必要になったときに参加しやすくするための仕組みを取っている。

また、見守りに関して、郵便物を直接届けに行き、顔を直接見て自然に見守るような工夫を取ることで、細かい変化に対応できるようにしている。



施設配置図（頂いた資料より）

どの住戸も窓が大きく取られ開放的で心地よい空間となっている。自然に囲まれていて、入居者のボランティアで無農薬野菜に取り組むなど、入居者が積極的に関わり、誰かのために働ける機会を設けている。また、設計の際は、夢会議をひらき、職員側の考え、設計者側の考え、入居者側の考えと、それぞれの視点から皆で考えることで、より生活しやすい、介護しやすい空間を生み出すための工夫を行っている。

最後まで住み続けをしてほしいと考えられて施設を設計しており、地域社会全体を使いながら入居者を支えていこうと考えて運営されている。入居者の最後のターミナルについては、訪問介護、看護、医療連携がしやすいように対応を理事長自らが行っている。一方で課題はまだ残っており、常に入居者と職員の立場に立って考えていくことを大切にしている。

それぞれの立場、考え方を尊重し互いに支え合えるような施設運営や、生活のしやすさや生きがいに繋がる設計など、とても興味深く勉強になった。

